

精神疾患を抱える家族・当事者・関係機関のための機関誌

SAGA 精連

2026/3

No. 165

発行 佐賀県精神保健福祉連合会

令和7年度 みんなねっと九州・沖縄ブロック家族会精神保健福祉研修会 佐賀大会



開会式にて 山口知事と「佐賀さいこう!」

令和7年12月11日(木)～12日(金)ホテルグランデはぐくれにおいて『わたしと家族が元気になる』をテーマに、みんなねっと九州・沖縄ブロック家族会精神保健福祉研修会佐賀大会を開催いたしました。オープニングセレモニーでは「尺八」久石妙志山(ひさいしみょうしざん)氏、「篠笛」森田希代子氏、「箏」村瀬ひとみ氏による和楽器の演奏で、会場がしっとりとした雰囲気になりました。松瀬さおり副会長の開会の言葉より開会式が始まり、みんなねっと岡田久美子理事長、松田孝会長の挨拶、続いてご来賓の佐賀県 山口祥義知事より祝辞を賜りました。

ほかに佐賀市保健福祉部 村口滋慶理事兼副部長、佐賀県精神科病院協会 鮫島隆晃会長、佐賀精神科診療所協会 谷口研一朗副会長、佐賀県精神保健福祉士協会 三根知起会長、佐賀県手を つなぐ育成会 大竹義治会長、日本オストミー協会佐賀県支部 原田俊二支部長、NPO 法人佐賀県腎臓病協議会 田中廣貴会長、佐賀県パラスポーツ協会 末次康裕会長(代理出席：山口徳光事務局長)、佐賀県精神保健福祉センター 宮下 聡所長、佐賀中部保健福祉事務所 森 正典所長のご臨席を賜りました。また、この度の大会に際しご祝電をいただきました皆様へここに厚く御礼申し上げます。

県内外よりのべ350名余が参加し、その中で民生委員や市民活動団体など一般市民の皆様の参加もあった2日間にわたる大会は、盛会のうちに終えることができました。

大会の開催にあたり、実行委員をはじめ各関係機関の皆様、また、多額のご寄付を頂きました方々のご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。大会後はたくさんの方よりご好評をいただき大変うれしく思いました。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

1日目

| オープニングセレモニー



| 開会式



岡田理事長

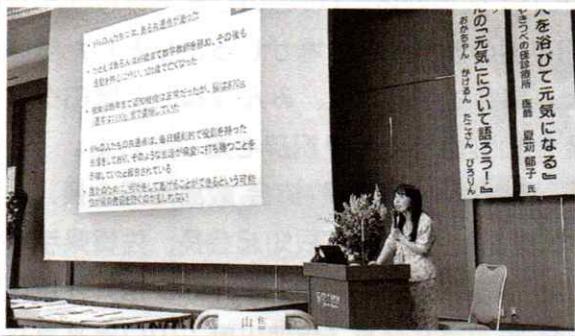


松田会長



山口知事

| 基調講演 「人は、人を浴びて元気になる」(やきつべの径診療所 医師 夏苺郁子氏)



| みんなねっと活動報告 全国精神保健福祉会連合会 理事長 岡田久美子氏



トークライブ

【あなたの「元気」について語ろう！～明日から使える、わたしの「い・ろ・は」～】

おかちゃん：岡崎史裕氏 菊池市障がい者基幹相談支援センター相談員、社会作業療法士協会幹事

かけるん：久島勇一郎氏 らしさ SAGA 共同代表

たこさん：古賀貴敏氏 作業療法士、訪問看護ステーションりんく副所長、SAGA 精連理事

ぴろりん：吉岡洋氏 ピアサポートからつ代表、SAGA 精連理事



懇親会



2日目

【第1分科会 【わたしと家族がげんきになる対話】

(さが銀杏の会の皆さん、司会：さが恵比須メンタルクリニック 院長 谷口研一朗氏)



【第2分科会 【もし活®してみませんか? ~ 親なきあとではなく、親あるうちに ~】

(ハッピーホープ代表 豊里 幸氏)



【閉会式



基調講演を聴いて

家族、当事者の経験を持つ児童精神科医の夏苺郁子先生を講師に迎え、お話しいただきました。統合失調症のお母様との関係性を克服した『人を憎まず病を識(し)る』という言葉が大変印象的でした。恨みは心の回復にはつながらない、その人を憎むのではなく病を識ることが大切。これは家族の内なる偏見にも通じることではないでしょうか。

また、体験を語ることで過去が清算され、語ることは治療になり、治療が進むとまた過去を清算できるという『語りの力』『言葉の力』も家族の分かち合いや支え合いという家族会活動の原点と同じと思いました。まっとうに扱ってくれた人たちとの出会いもご自身が回復するきっかけとなったそうです。娘のためにご自身を犠牲にして得たお金で作られたという手作りのお洋服を着て披露する、その姿にも胸を打たれました。『心の回復に締め切りはありません』壮絶な人生を生き抜いた夏苺先生からのメッセージには深い説得力がありました。

最後に先生から家族会ができることとして元気になる方法を2つ提案され、感動に包まれながら終了しました。

SAGA 精連 友田

第1分科会に参加して

「わたしと家族がげんきになる対話」に参加させていただきました。

事前準備なしでの登壇で、大丈夫だろうかとも思いましたが、匿名でよく、5人もいれば誰かが話してくれるだろうという軽い気持ちで引き受けました。当日は、すらすら言葉がでてきて、自分でも驚くくらいでした。2年前に家族会に入会する前は、精神疾患の家族のことを25年位、語ることはありませんでしたが、話すことによって生きやすくなりました。夏苺先生の「語ることは治療になる」を実感しているところです。

きよみずの会 会員より



賛助会員を募集しています

こころの病気をもちながら頑張っているご本人と家族の応援団になってくださる賛助会員を募集しています。賛助会員にはこの「SAGA精連誌」を送付します。会費は当会の活動に大切にさせていただきます。皆様のご支援をおまちしています。手続きは下記の口座をご利用ください。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

賛助会費 ◎団体：一口 10,000円 ◎個人：一口 3,000円

【郵便振替口座】

口座番号 01730-7-85175

口座名 佐賀県精神保健福祉連合会

【銀行】佐賀銀行 唐津支店 普通預金

口座番号 1897535

口座名義 佐賀県精神保健福祉連合会 会長 松田孝

九州・沖縄ブロック家族会を終えて

11月になるまでは参加者が集まるか不安な気持ちでしたが、11月末まで順調に申し込みが続き、各県とも予想を上回る人数が参加していただきました。感謝！

1日目、12月11日、車で来られる方の駐車場が満杯になるのではとの予想も外れ、それほど混乱もなく順調に駐車場が使えたのは幸いでした。ただ、12時頃から雨が降りだし、何人かのスタッフの方は雨合羽を着ながらの誘導となった事本当にお疲れ様でした。

1日目総数 186 名余りと盛況の中開会式が行われました。今大会の1日目の特筆すべきは山口知事のご出席と一般市民の多数参加(18名)です。知事のご出席及び私の挨拶の中での「佐賀さいこう！」のパフォーマンスの知事とのコラボは各県の関係者からも驚きの声をたくさん聞きました。「佐賀は知事との関係が近い！！」と。

さて、1日目の基調講演は夏苺郁子先生。タイトルの「人は人を浴びて元気になる」は観客の中でも「ほんとうにそう思う」との感動を持って広がりを見せました。

また、トークライブ「あなたの元気について語ろう」では会場からの参加が不可欠なので意見が出るかな？との私の不安もあったが、出演者の明るいトークで盛り上がり、会場からもたくさんの「元気」をめぐる発言が出た。やはり会場は出演者の熱い元気な思いが伝わるものだと感じました。

懇親会は 100 名余りの参加者がありました。ここも昼間の熱いムードそのまま楽しく盛り上がって行きました。19時からミニコンサートがあったので切れ目なく舞台上で何かあっているという感じがありました。各県会長どうしはテレビ会議で顔なじみであるが、アルコールの力を借りてますます親睦を深めていきました。

2日目は第一分科会参加者86人、第二分科会は82名の参加者となりました。今大会で各県の家族の距離が益々近くなった！を感じました。会場共々「人は、人を浴びて元気になる！」と「わたしと家族が元気になる！」を共感する大会でした。

SAGA 精連 松田 孝

佐賀大会に参加した家族会員の声



- 初めて参加し男性の参加の多さに驚きその力強さに圧倒されました。たくさんの事を学び人と繋がり元気をもらいました。ありがとうございました。
- たくさんの元気と絆をもらって今回の学びをこれからの人生の糧にしたいと思います！



「月刊みんなねっと」を購読しませんか？

「月刊みんなねっと」は賛助会費をお振込みいただくと毎月お手元に届きます。個人でお申し込みの場合は個別賛助会員(年間3,600円)、2名以上でお取りいただける方は複数賛助会員(年間3,600円×人数分)、家族会団体賛助会員(会費についてはお問い合わせください)となります。

【お電話またはFAXでのご入会】

Tel:03-5941-6345 / Fax:03-5941-6347

※お掛け間違えのないよう、お願いいたします。

【郵便振込先】 公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会
口座番号 00130-0-338317



みんなねっと京都大会感想

今回の大会は9月5日は交流会や懇親会。これは欠席しました。9月6日は基調講演その他と分科会(4つに分かれる)が行われた。

基調講演は精神科医高木俊介先生。先生の講演は去年11月の福岡大会でも聞いているが、今回は少し内容が違っていた。最近の情勢として外国人排斥に近い風潮が見られるが、この排斥がひどくなると、必ず精神障がい者への悪い影響が出て来るのではないかといった事である。また病院に逆戻りしないよう我々も注意が必要であるということであろう。

また、精神病の原因が特定されない中、精神科で処方される薬も行き詰まりを見せているということと、医師による投薬の難しさについても言及されていた。「自分も投薬が下手」と自戒されていたが、副作用等考えるとなかなか思うように投薬できないという事か？

最後におっしゃっていたのは家族会でヘルパーステーションを開設したら？と強力に提案されていた。他の障がい者を見れば我が家の現状が分かってくると。。

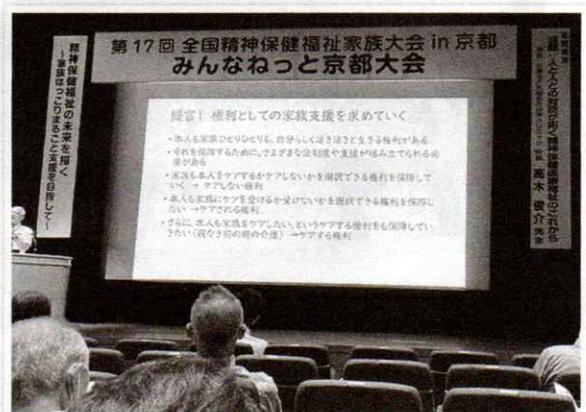
また、SST(生活技能訓練)の勧めもあった。それは「ありがとう！ごめんなさい！」を出来るだけ多く我が家の当事者に対し発言する筈。私も含め簡単そうだがなかなか出来ない事だが？

さて分科会は第二に参加したが、23年間の引きこもりから脱した板垣さん(50才)の動機は父親の緊急事態(心筋梗塞)であった事が印象的であった。他に、支援者の現在の引きこもり等に対する情勢の的確な分析には瞠目するものがあった。

SAGA 精連会長 松田 孝

高木先生の基調講演を聞いて印象に残ったのは、親の会でヘルパーステーションを立ち上げたらという提案です。よそのお子さんのお世話をすることで我が子の良いところが見えるはずと仰られていました。そして当事者に心を込めて「ありがとう」「ごめんなさい」の言葉をたくさん言ってあげてくださいとのことでした。

きよみずの会 M



「グラウンドゴルフ大会」

まだまだ暑さの残る令和7年10月7日(火)、小城公園自楽園にて第28回親睦グラウンドゴルフ大会を開催しました。南里 隆小城市長と池田正恭佐賀県議会議員にご挨拶をいただき、始球式のあと団体戦と個人戦を行いました。

団体戦の開始直後にホールインワンが出て「おぉーっ！」と歓声上がるチームあり、あらぬ方向へ転がっていくボールを追いかけたり、ホールポストのそばまで来ても枠にはじかれたり通り過ぎてしまい「あぁ～惜しい！」と労わるチームありと、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を楽しみました。

開催にするにあたり、小城町グラウンドゴルフ協会の井手会長はじめ役員の方々には快くご協力をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

★ 団体戦

- 1位 あけぼのセンター A チーム
- 2位 さくらんぼ工房チーム
- 3位 みょうがワクワクチーム

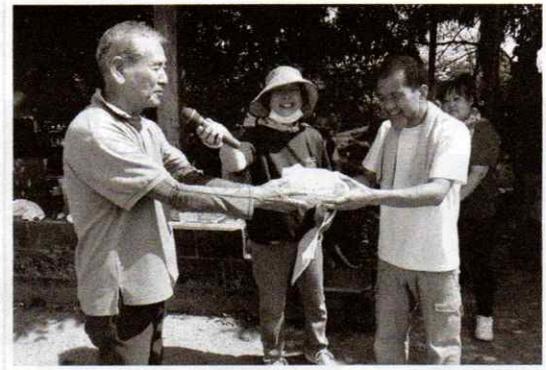
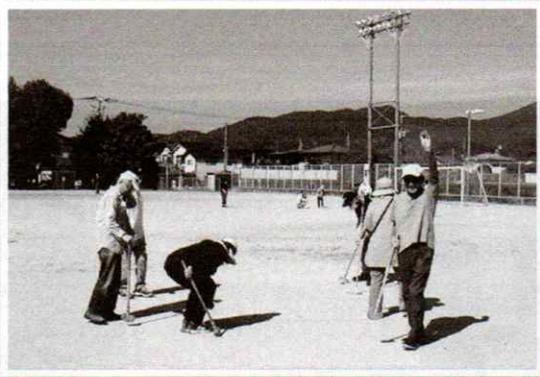
★ 個人戦

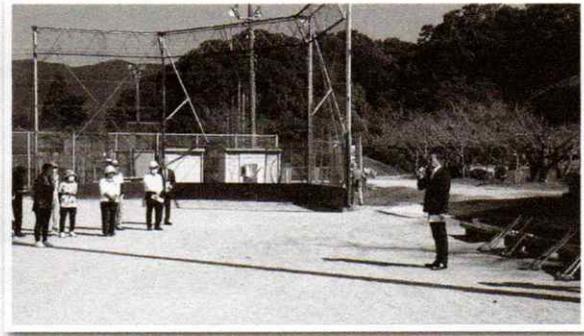
- 1位 松田 孝(きよみずの会)
- 2位 三好 一郎(あけぼのセンター A)
- 3位 浦邊 浩(あけぼのセンター A)

ホールインワンをされた方々

◎松田 孝(きよみずの会)

◎竹下雄大(みょうがウキウキ)





風船の糸

貴方の後を付いて 行きたい

そして

あなたの 影を追いかけてながら

あたかも 戯れるかのように

手をつないでいて

私 心細くて 泣き虫だから

私の 風船の糸 捕まえていてね

淋しくて 淋しくて

今にも 涙が出そうよ

もっと もっと お話したいけど

あまりにも ドキドキして

言葉が出て 来ないのよ

こんな私で ごめんね

どうぞいつまでも 支えていて

小楠 淳子



優しい温もり

冬にしか味わえない この温もりに

すごく感謝したい

日本の四季

ありがたい この季節感を

私はしみじみと 感じる

今年もまた 精一杯

頑張りたいと 誓う

この地球に生まれてきて

本当に 良かった

母さん ありがとう

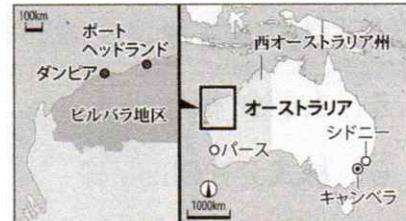
私という命を いただいて…

小楠 淳子

オーストラリアあれこれ

私の船乗り時代の経験を時々皆さんにお知らせしたいと思います。見ていただければ幸いです。ちなみに私の職名は機関士(その後機関長)、航海関係の記述は航海士ではないので不正確な部分はお詫びします。

新米船乗り、次席三等機関士として最初に訪れたのが西豪州のポートダンピアでした。その航海の模様をお知らせします。船種は鉱石運搬船、当時世界最大級の16万トン、280m超の巨大な船でした。年末に大分鶴崎の新日鉄での鉱石荷揚げを終え出航、一路ダンピアに向け南下を続けました。



年末ですが、南下により日々気温が上がり正月を洋上で迎える頃にはフィリピン近くを通り暑い気候となりました。正月はつい最近まで学生の身には大層な御馳走があり、お酒も飲み放題。若さでたらふく飲んだことを覚えています。

よく「船は夜はどうしてるの?」という声を聞きますが、もちろん一刻も休まずにひたすら目的地へ時速30km前後で進んでいます。1日720km程度ですが、車で毎日700km移動は健全な人でも大変ですね?船舶は結構なスピードで移動しているのです。

さて、赤道直下インドネシアの狭い水道を通過しました。沿岸に住む人の様子が見えます。ヤシの葉で屋根を作り、原始的な生活をしている住民の様子が見えて興奮したものです。

2週間の航海を経て、ポートダンピアに到着しました。東海岸のシドニーやメルボルンと違い気候も暑く鉱石積出の施設があるだけでごく小さな町でした。岸壁に着くとすぐにベルトコンベヤーでものすごい勢いで鉱石(というよりは砂に近い)が船倉に放り込まれるように積まれていきました。16万トンを積むのに約1日程度。とんでもないスピードと内陸から運ばれるのでその規模は見れませんが露天掘りだという。圧倒的な埋蔵量ですね。

2等航海士が荷役監督のオーストラリア人と仲が良く、夕食をと彼の家に招待を受けていて、私もいかに誘いがあった。これは喜んでお受けしました。荷役監督の車でお宅までは約30分かかったが、沿道は家も少なくともカンガルーが道に出て来るといふ。

お宅に到着し、幼子を抱っこした夫人に挨拶。ただそれからが戸惑った。夫は帰るや否やすぐにスパゲッティとサラダの調理に取り掛かり、30分ほどで作り終え、我々と会食した。

その後食後の歓談に彼は加わず、食事の片付け及び皿洗いに取り掛かった。奥さんとはいうとにこやかに我々の相手をした。オーストラリアではここ西豪州は僻地であり、女性も少なくかなりの女上位だという話を2等航海士はそっと教えてくれた。真偽のほどは分からないが豪州の男性はよく働くという事は分かった。

本船に帰ると既に夜中の出航が決まっており、少し慌ただしい雰囲気があった。本船上の乗組員は荷役の合間に岸壁回りで魚釣りにいそしんでいた。収穫は多く、あら、ひらまさ、多量のアジなど種類も大きさも内地(日本)の岸壁とは比べ物にならないとの事だった。

1日程度の停泊を終え、出航となった。1~2時間でS/B(スタンバイ)を終えフルスピードで大分を目指す復航になった。新米には練習船の経験に比べ貨物船は停泊が少なくとても忙しく感じる航海であった!



■ 令和7年度 SAGA精連賛助会員・賛助費

皆さまのご理解ご協力に心より感謝申し上げます

(敬称略)

1. 藤田歯科医院 様	10,000円	12. ユニカレさが 様	10,000円
2. 悠心堂クリニック 様	10,000円	13. 鮫島隆晃 様	5,000円
3. 土井 幸 様	3,000円	14. ふじの森ホスピタル 様	10,000円
4. 織田病院 様	10,000円	15. やまと心のクリニック 様	10,000円
5. 友朋会 様	10,000円	16. 清友病院 様	10,000円
6. 株式会社Climb 様	10,000円	17. 早津江病院 様	10,000円
7. もろくま心療クリニック 様	10,000円	18. 白石保養院 様	10,000円
8. 多布施クリニック 様	10,000円	19. 株式会社 中央軒 様	10,000円
9. 堀田病院 様	10,000円	20. 江島 佐知子 様	3,000円
10. 大島クリニック 様	10,000円	21. 吉岡 洋 様	3,000円
11. たじまメンタルクリニック 様	10,000円		



家族相談しています

場 所

佐賀県精神保健福祉連合会
(SAGA精連)事務所

Tel・Fax

0952-72-4797

開催日時

毎週月曜日 10:00~12:00
(尚、祝日・お盆・年末年始はお休みです)

対 象 者

精神疾患を抱える人の家族



発 行
事務局

佐賀県精神保健福祉連合会(SAGA 精連)
小城市小城町178-9 〒845-0001
TEL・FAX 0952 (72) 4797
E-mail : kenseiren_saga@yahoo.co.jp
HP : <https://sagaseiren.com>

